

令和6年度 高岡市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和7年5月

高岡市（富山県）

○計画期間: 令和4年4月～令和9年3月(5年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和6年度終了時点(令和7年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、令和4年3月の認定基本計画に基づき、「人が輝き、人で輝く、人が主体の賑わいづくり～まちなかりスタート！南北一体化による交流シンカを目指して～」のスローガンのもと、「多様な目的で人が行き交い、交流するまち」、「新たなチャレンジとライフスタイルを楽しむまち」を目指して、交流人口の拡大、まちなか居住と生活サービス・事業創出機能の充実に努めてきた。

高岡駅前東地区における分譲マンションをはじめ、その他の地域のアパート、マンションへの入居が進んだことや、転出の抑制が図られたことなどを理由に、統計開始（H28）以降初めての社会増となった昨年度に引き続き社会増となっている。

また、令和6年においては北陸新幹線敦賀延伸や大型観光キャンペーン「北陸デステイネーションキャンペーン」が実施されたところであるが、能登半島地震の影響もあり、中心市街地の観光地については前年度比減となった。一方で、3月に高岡駅前のウイング・ウイング高岡において、全国的なブランド力のあるグループがプロデュースする日本料理店がオープンするなど、民間資本による新たな集客も期待されているところである。

市内有数の観光地である山町筋においては、空き物件の活用が進んでいる。能登半島地震で被災した七尾市の事業者が新規に山町ヴァレーに店舗をオープンするなど、観光地の賑わいととともに、被災地復興の懸け橋となっている。今後も空き家を活用したゲストハウスのオープンや、赤レンガの銀行を飲食店に改修する計画が進んでおり、まちなかの観光地としての更なる賑わい向上が期待される。

一方、高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU（タス）」では、相談・セミナーで、令和5年3月のオープンから約6,000人の利用があり、相談者の中から御旅屋人マーケットでの出店や、まちなかでの新規開業などにも複数件繋げることができた。空き物件を取得し、カフェやゲストハウス等オープンさせる事業も複数件あり、まちなかでのリノベーションの動きが活発になっている。

これらの要因も相まって、直近の中心市街地の調査地点における公示地価についても下げ幅の縮小が進んでおり、明るい兆しが見える。

引き続き各種事業を相乗的に連携・展開することで、中心商店街の商業機能の活性化が期待されているところである。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1)居住人口

(基準日：毎年度3月31日)

(中心市街地区域)	令和3年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (最終年度)
人口	13,702人	13,361人	13,179人	13,082人		
人口増減数	△216人	△341人	△182人	△97人		
自然増減数	△185人	△249人	△240人	△229人		
社会増減数	△31人	△92人	58人	132人		
転入者数	654人	541人	648人	699人		

(2)地価の状況

(単位：円/㎡)

	令和3年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (最終年度)
中心市街地 商業地域						
宮脇町吉田 1003-1 外	90,000	87,700	86,800	86,200		
丸の内65-1	77,300	76,300	75,500	74,900		
守山町17-1 外	57,100	56,500	56,200	55,900		
新横町1044- 1 外	83,800	81,600	80,400	79,500		
駅南1-830-7	70,200	69,200	68,900	68,800		
中心市街地 住宅地域						
大町217-2 ※	26,700	26,300	26,000	25,700		
金屋町109-2	33,100	33,000	33,000	33,000		

※令和5年「袋町(旧大町)91 外」から選定替え

出典：国土交通省地価公示

2. 令和6年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

認定中心市街地活性化基本計画に位置付けられた事業や計画については、関係者が連携を密にし、着実に進行していると評価している。これまで実施してきた事業の成果も現れ、中心市街地エリアにおいて統計開始以来初めての社会増となった令和5年度に引き続き社会増が続くなど明るい兆しも見えている。協議会としても、引き続き行政を始めとする関係者と連携・協力しながら、必要に応じた支援等を行っていききたい。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
多様な目的で人が行き交い、交流するまち	主要観光施設における観光入込客数	351,000 人 (R1)	375,500 人 (R8)	264,458 人 (R6)	C	A	A
	中心商店街・観光地周辺(6地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値	14,425 人 (R1)	15,000 人 (R8)	16,880 人 (R6)	A	A	A
新たなチャレンジとライフスタイルを楽しむまち	中心市街地における居住人口の社会増減数	△50 人／年 (H29～R2)	±0 人／年 (R4～R8)	+33 人／年 (R4～R6)	A	A	A
	中心市街地・観光地周辺における新規開業件数	57 件 (H29～R2)	60 件 (R4～R8) 12 件／年	49 件 (R4～R6) 16 件／年	C	A	A

< 基準値からの改善状況 >

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

< 目標達成に関する見通しの分類 >

A：目標達成が見込まれる（関連する事業の進捗状況が順調）

a：目標達成が見込まれる（関連する事業の進捗状況が順調でない）

B：目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業の進捗状況が順調）

b：目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業の進捗状況が順調でない）

C：目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業の進捗状況が順調）

c：目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業の進捗状況が順調でない）

2. 目標達成見通しの理由

「観光入込客数」については、新型コロナウイルス感染症拡大前である令和元年を基準年としているが、現時点ではその基準値に達していない。アフターコロナでの国内外の観光需要の回復によって入込客数は増加傾向にあったが、令和6年1月の能登半島地震の影響もあり前年比減となった。全国的にはインバウンドを中心に観光客の増加傾向が続いており、その需要を取り込むためにも、引き続き各種施策に取り組む。

「歩行者・自転車通行量」については、平日・休日ともに前年度から大きく増加し、目標値である15,000人を達成した。休日の通行量が大きく増えたことが主な要因ではあるが、課題であった平日の通行量も改善してきており、この流れを維持するためにも、新規

店舗の開業支援や、リノベーション事業への支援を積極的に行うことで、地元住民や観光客がより訪れるエリアを構築していきたい。

「居住人口の社会増減数」については、新たな分譲マンションの入居が進んだ影響で前年度に引き続き社会増となった。今計画期間全体としても社会増となり、今後も計画に位置付けた事業を着実に実施し、目標達成を目指す。

「新規開業件数」については、令和6年度は16件の実績であり、目標としている年間12件の開業を上回り、目標達成は可能と見込まれる。

また、令和4年度から実施している、御旅屋人マーケットやTASUからの開業も着実に進んでおり、更に令和6年度からは新たに遊休不動産のリノベーションを後押しする事業を開始した。引き続きこれらの事業を相乗的に連携・展開して中心市街地の賑わい創出につなげていく。

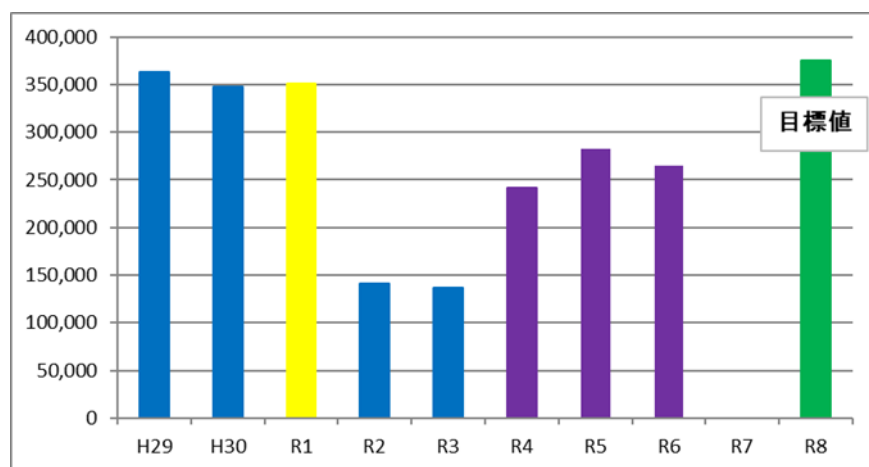
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由 見通しの変化なし。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1) 「主要観光施設における観光入込客数」

※目標値設定の考え方認定基本計画 P. 72～P. 75 参照

●調査結果と分析



年	(単位) 人
R1	351,000 (基準年値)
R4	241,687
R5	282,656
R6	264,458
R7	
R8	375,500 (目標値)

■ 第3期認定後 ■ 基準年値 ■ 第4期認定後 ■ 目標値

※調査方法：施設毎の1～12月の入込数を集計

※調査月：2月

※調査主体：高岡市

※調査対象：瑞龍寺、高岡大仏、山町筋（菅野家・土蔵造りのまち資料館・御車山会館）
金屋町（鋳物資料館）、高岡地場産業センター（令和3年度より計上）

	令和元年 (計画前年度)	令和4年 (1年目)	令和5年 (2年目)	令和6年 (3年目)	令和7年 (4年目)	令和8年 (5年目)
瑞龍寺	196,785	94,904	116,493	107,576		
高岡大仏	92,000	83,000	91,040	91,350		
菅野家	2,584	0	0	0		
土蔵造りのまち 資料館	4,018	2,545	2,503	3,590		
高岡御車山会館	49,098	31,461	37,132	30,479		
鋳物資料館	6,621	4,137	3,913	4,153		
高岡地域地場産 業センター	-	25,640	31,575	27,310		
合計	351,106	241,687	282,656	264,458		

(参考指標)

	令和元年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年
市内宿泊者数	308,723 人	214,246 人	224,853 人	323,375 人		
市内外国人 宿泊者数	11,394人	2,412人	6,248人	9,369人		

〈分析内容〉

アフターコロナでの国内外の観光需要の回復によって利用客は増加傾向にあったが、令和6年能登半島地震による観光客数の落ち込みの影響が大きく、前年度比減となった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

ア. 高岡地域地場産業センターの移転による増加

○高岡地域地場産業センター運営事業（（公財）高岡地域地場産業センター）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
実施主体	（公財）高岡地域地場産業センター
事業概要	昭和58年に設立した公益財団法人高岡地域地場産業センターは、令和2年10月に中心市街地にある御旅屋セリオへ移転し、まちなかから富山県西部地域の伝統産業の振興拠点施設として円滑な運営を図る。
国の支援措置名 及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新 値及び進捗状況	（高岡地域地場産業センターの移転による増加） 事業目標値：+20,000人 最新値：+27,310人（R1 0、R6 27,310） 達成状況：達成

事業の今後について	敦賀開業による観光需要や鋳物制作体験による教育需要も取り込みながら、引き続き利用者の増加に努めていく。
-----------	---

イ. 北陸新幹線の敦賀開業による効果

○呉西観光誘客推進事業（富山県西部地区観光協議会）

事業実施期間	平成 29 年度～令和 7 年度【実施中】
実施主体	富山県西部地区観光協議会
事業概要	令和 3 年 2 月に改訂した「第 2 期とやま呉西圏域都市圏ビジョン」に基づき、圏域の多彩な観光資源（自然・文化・産業遺産等）の連携によるマーケティング・ブランディングにより、圏域の観光エリアの PR 強化・充実に努め、観光誘客を図る。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	（北陸新幹線の敦賀開業による効果） 事業目標値：＋3,500 人 最新値：＋4,500 人（新高岡駅の人流伸び率から算出） 達成状況：達成
事業の今後について	敦賀開業を契機とした本市への観光客誘致へとつなげるため、圏域内の観光 PR の強化・充実に努める。

ウ. 賑わい集積開業等支援事業による波及効果

○賑わい集積開業等支援事業（高岡市）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
実施主体	高岡市
事業概要	商店街や観光地など指定区域において、空き店舗で新規開業する方等を対象に、店舗改装費や家賃等に対し支援 旧来の 4 つの開業支援制度を一本化し、効率的、効果的な制度運用を図る。 ・ 中心市街地賑わい創出開業等支援事業（中心市街地） ・ 観光地魅力アップ開業等支援事業（観光地周辺） ・ 空き店舗における開業等支援事業（周辺商店街） ・ 中心市街地における既存店舗リニューアル支援事業
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和 2 年度～令和 4 年度） 中心市街地活性化ソフト事業（令和 5 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（賑わい集積開業等支援事業による波及効果） 事業目標値：＋1,000 人 最新値：＋800 人 達成状況：未達成 令和 4 年度～令和 8 年度で目標 10 店舗開業のところ、令和 4 年度～令和 6 年度は観光地において 8 件の開業があった。

事業の今後について

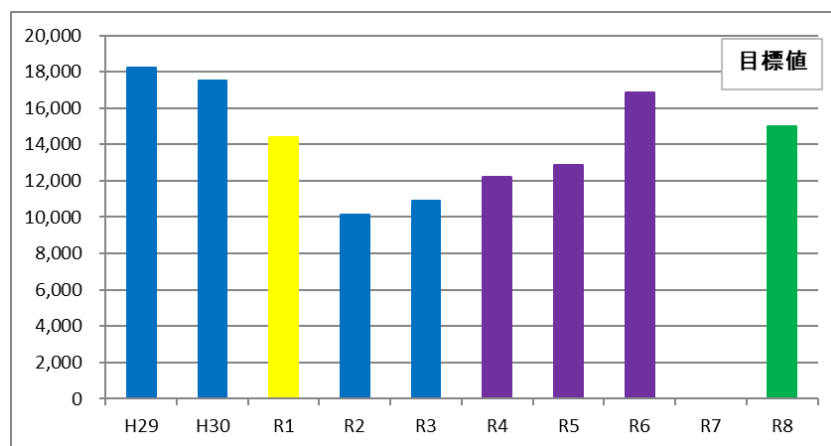
引き続き制度の周知や関連団体との連携を行うことで開業支援の活用を図っていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

令和6年においては北陸新幹線敦賀延伸や大型観光キャンペーン「北陸デスティネーションキャンペーン」が実施されたところであるが、1月の能登半島地震の影響もあり、中心市街地の観光地については前年比減となった。一方で、震災による市内観光への影響が和らいできた4月以降については回復傾向にあるため、今後も引き続き呉西地域で連携した観光PRの強化を行うとともに、御旅屋駐車場の2時間無料化に伴うレンタルサイクルの整備や、開業支援事業による魅力的な店舗の開業を促進することで、本市を訪れた観光客が中心市街地を回遊する仕掛けづくりを行っていく。

(2) 中心商店街・観光地周辺(6地点)における平日・休日の歩行者・自転車通行量の平均値

※目標値設定の考え方認定基本計画 P. 75～P. 81 参照



年	(単位) 人
R1	14,425 (基準年値)
R4	12,217
R5	12,845
R6	16,880
R7	
R8	15,000 (目標値)

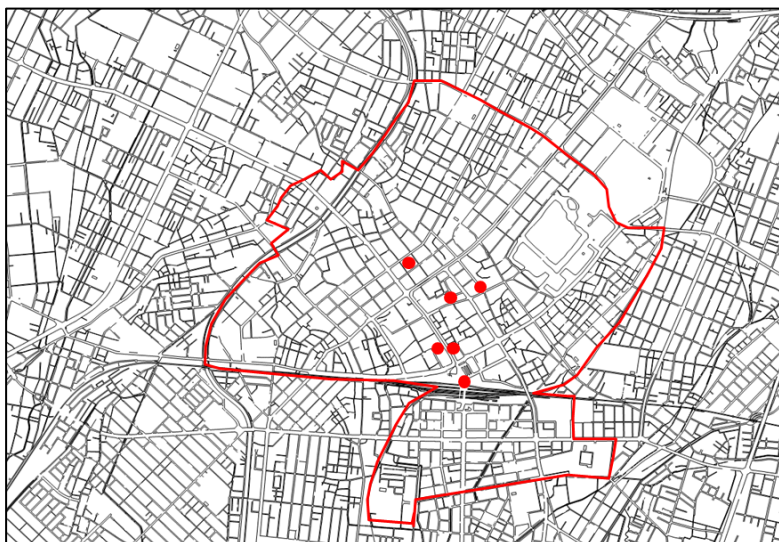
■ 第3期認定後 ■ 基準年値 ■ 第4期認定後 ■ 目標値

※調査方法： 平日・休日の歩行者・自転車通行量を計測

※調査月： 10月

※調査主体： 高岡市

※調査対象： 中心商店街・観光地周辺6地点（高岡駅前（人工デッキ）、末広町（西）、末広町（東）、御旅屋通り、大仏前、山町筋（木舟町））



		令和元年度 (計画前年度)	令和4年度 (1年目)	令和5年度 (2年目)	令和6年度 (3年目)	令和7年度 (4年目)	令和8年度 (5年目)
高岡駅前	平日	10,146	5,334	9,729	9,717		
	休日	7,623	5,620	7,139	10,699		
末広町 (東)	平日	761	918	746	890		
	休日	796	862	656	910		
末広町 (西)	平日	1,197	1,238	790	1,111		
	休日	1,186	1,024	714	1,637		
御旅屋通り	平日	891	1,002	868	1,263		
	休日	1,131	3,108	1,368	3,149		
大仏前	平日	1,542	1,676	794	1,409		
	休日	2,685	2,663	2,248	1,838		
山町筋 (木舟町)	平日	404	452	302	334		
	休日	487	536	335	803		
6地点 合計	平日	14,941	10,620	13,229	14,724		
	休日	13,908	13,813	12,460	19,036		
平均		14,425	12,217	12,845	16,880		

(参考指標) 御旅屋セリ才来館者数の平均 (人/日)

令和元年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
1,157	637	708	753		

〈分析内容〉

百貨店撤退やコロナ禍による外出機会の縮小により、平均値として前年度比約 4,000 人の増となり、基準年を上回る水準まで回復してきている。その要因として平日においては、中心市街地での新規店舗の開業やインバウンド需要の増加により、通行量が回復してきたことが挙げられる。また、休日においては、開催するイベント間で相互に連携し、周遊性を持たせることで、高岡駅前～御旅屋通りまでの通行量の増に繋がったことが要因として挙げられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

ア. 高岡駅前東地区整備事業の居住者の周遊

○高岡駅前東地区整備事業（高岡市、高岡駅前東地区協議会、権利関係者）

事業実施期間	令和2年度～令和5年度【済】
実施主体	高岡市、高岡駅前東地区まちづくり協議会、権利関係者
事業概要	地権者と共に実現化に向けた計画の策定や民間事業の開発支援（業務施設、マンション等）、周辺環境の整備（道路、広場等）を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）（国土交通省）（令和2年度～令和5年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（高岡駅前東地区整備事業の居住者の周遊による増加） 事業目標値：+150 人／日 最新値：+150 人／日 達成状況：達成 分譲マンションの入居が進み、居住者の増及びそれに伴う周遊の増が進んでいる。
事業の今後について	分譲マンションへの入居が完了したため、今後はマンション居住者によるまちなかへの流動が図られるよう取り組んでいく。

イ. セリオタウン推進事業による増加

○オタヤ子ども広場運営事業（オタヤ子ども広場実行委員会）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
実施主体	オタヤ子ども広場実行委員会
事業概要	御旅屋セリオ内にある子ども広場の運営を行い、様々な企画・イベントを実施する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	（セリオタウン推進事業による増加） 事業目標値：+200 人／日 最新値：△404 人／日（参考指標・御旅屋セリオ来館者数平均） （R1:1,157 人 R6:753 人） 達成状況：未達成

	令和元年度の百貨店撤退前の水準には達していないが、回復基調にある。
事業の今後について	新たな遊具の導入や、子育て世代にとって魅力的なイベントの実施などにより、更なる施設利用者の増を目指す。

ウ. リノベーションまちづくり事業による増加

○リノベーションまちづくり事業（高岡市、中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成 29 年度～【実施中】
実施主体	高岡市、中心市街地活性化協議会
事業概要	「御旅屋人マーケット」を始めとした、新しい使い方による「街のコンテンツ」を生み出すことにより、来街機会と賑わいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和 2 年度～令和 4 年度） 中心市街地活性化ソフト事業（令和 5 年度～令和 8 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（リノベーションまちづくり事業による増加） 事業目標値：＋150 人／日 最新値：＋30 人／日 達成状況：未達成 御旅屋人マーケットの出店者による中心市街地エリアでの開業成果があった。
事業の今後について	引き続き、商店街での定期的なマーケット開催により、中心商店街での回遊の促進、更には出店者や客が実店舗開業とその顧客となるよう誘導する。

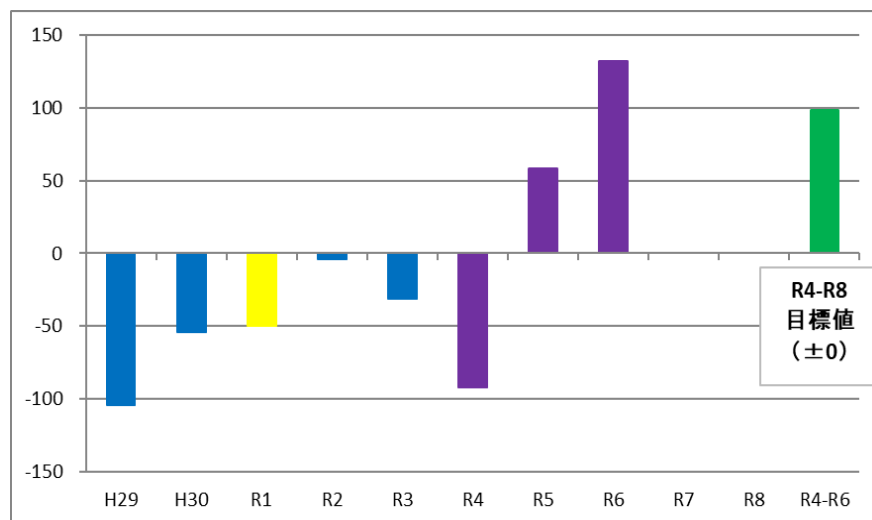
●目標達成の見通し及び今後の対策

通行量は平日・休日ともに前年度から大きく増加し、目標値である 15,000 人を達成した。課題であった平日の通行量について、民間によるマンション開発や新規店舗のオープン等の効果により増加した。休日の通行量についても、中心市街地において複数のイベントが開催された事に加え、各地点間の周遊性が高まったことで通行量が大きく増えた。この流れを維持するためにも、新規店舗の開業支援や、リノベーション事業への支援を積極的に行うことで、地元住民や観光客がより訪れるエリアを構築していきたい。

一方で参考指標である、御旅屋セリオの来館者数については、百貨店撤退以前の水準には戻っていないが、毎年増加を続けており、オタヤ子ども広場やTASU等の館内施設の効果が出てきていると言える。

(3) 中心市街地における居住人口の社会増減数

※目標値設定の考え方認定基本計画 P. 81～P. 84 参照



年	(単位) 人
H29- R2	△50／年 (基準年値)
R4	△92
R5	58
R6	132
R7	
R4- R8	±0 (目標値)
R4-R6	33／年 (参考)

■第3期認定後 ■基準年値 ■第4期認定後 ■目標値

※調査方法：住民基本台帳からの集計

※調査月：3月31日

※調査主体：高岡市

※調査対象：認定区域内に居住する人

(参考指標)

	令和元年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
市内全体の 転入者数	4,685 人	4,894 人	4,786 人	5,046 人		
市内全体の 転出者数	5,149 人	4,815 人	4,899 人	4,498 人		
市内全体の 社会増減	▲464 人	79 人	▲113 人	548 人		
エリア内の 定塚地区人口	3,930 人	3,964 人	3,933 人	3,938 人		
定塚地区の社 会増減数	113 人	9 人	41 人	78 人		

〈分析内容〉

統計開始 (H28) 以降初めて社会増となった令和5年度に引き続き、令和6年度についても社会増となった影響で、第4期計画中の延べ人数においても社会増に転じた。引き続き中心市街地での住居の取得、リフォーム等を支援することで、市外からの転入増を図り、目標達成を目指す。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

ア. たかおか暮らし支援事業による増加

○たかおか暮らし支援事業（高岡市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
実施主体	高岡市
事業概要	高岡市が指定した「まちなか区域」及び「居住誘導区域（UIJ 世帯または子育て世帯）」において、家屋の新築や、新築（建売）・中古住宅の取得、新築・中古分譲マンションの取得、隣接土地の取得、隣接土地上の空き家等の除却、耐震改修に伴うリフォーム、三世代同居のためのリフォーム、エコリフォームを行う者に対し、費用の一部を支援する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（地域住宅政策推進事業））（国土交通省）（令和３年度～令和７年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（たかおか暮らし支援事業による増加） 事業目標値：＋75 人 最新値：＋102 人（R4～R6:57 件から算出） 達成状況：達成 令和４～６年度で 57 件の実績があり、まちなか居住人口の増に寄与している。
事業の今後について	支援制度の周知に努めることで「まちなか区域」への居住支援を継続し、居住人口の維持・増加へと繋げていく。

イ. 高岡駅前東地区整備事業による増加

○高岡駅前東地区整備事業【再掲】（高岡市、高岡駅前東地区協議会、権利関係者）

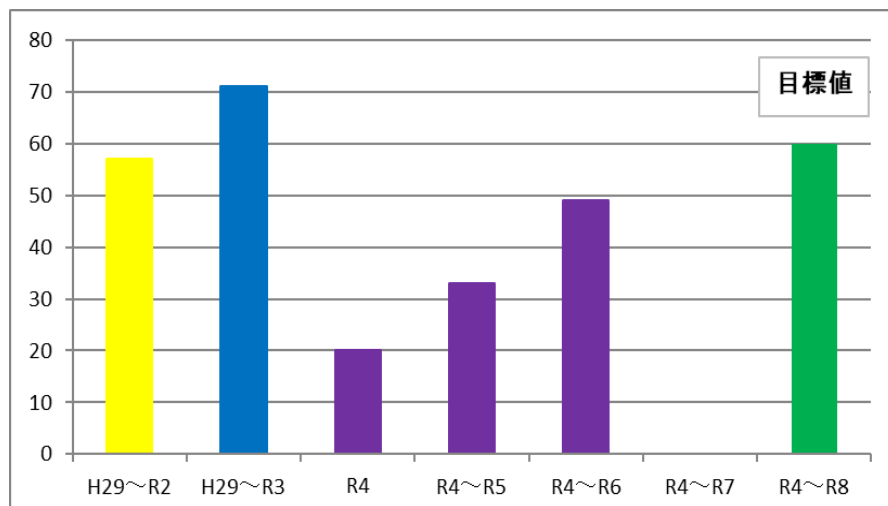
事業実施期間	令和２年度～令和５年度【済】
実施主体	高岡市、高岡駅前東地区まちづくり協議会、権利関係者
事業概要	地権者と共に実現化に向けた計画の策定や民間事業の開発支援（業務施設、マンション等）、周辺環境の整備（道路、広場等）を実施する。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（優良建築物等整備事業）（国土交通省）（令和２年度～令和５年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（高岡駅前東地区整備事業による増加） 事業目標値：＋158 人／日 最新値：＋158 人／日 達成状況：達成 分譲マンションの入居が進み、居住者の増及びそれに伴う周遊の増が進んでいる。
事業の今後について	分譲マンションへの入居が完了したため、今後はマンション居住者によるまちなかへの流動が図られるよう取り組んでいく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

統計開始（H28）以降初めて社会増となった令和5年度に引き続き、令和6年度についても社会増となった影響で、第4期計画中の延べ人数においても社会増に転じた。引き続き中心市街地での住居の取得、リフォーム等を支援することで、市外からの転入増を図るとともに、中心市街地外への転居を抑制するため、計画に位置付けた事業を着実に実施し、目標達成を目指す。

（４）中心市街地・観光地周辺における新規開業件数

※目標値設定の考え方認定基本計画 P. 84～P. 87 参照



年	（単位）件
H29- R2	57 （基準年値）
R4	20
R4- R5	33
R4- R6	49
R4- R7	
R4- R8	60 （目標値）

■第3期認定後 ■基準年値 ■第4期認定後 ■目標値

※調査方法： 職員による現地調査

※調査月： 4月～翌年3月

※調査主体： 高岡市

※調査対象： 認定区域内における新規開業店舗

（参考指標）

	令和元年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
店舗数	99 件	100 件	98 件	97 件		
空き店舗件数	28 件	23 件	25 件	27 件		
うち利用可能な 空き店舗件数	14 件	10 件	7 件	6 件		

〈分析内容〉

令和6年度における新規開業件数は16件であり、目標としている年間12件ペースを上回っている。コロナ禍からの回復で飲食・観光関連の業種を中心に新規開業が増加傾向にあることや、TASUを始めとした関係機関の支援が、開業の促進につながっていると考えられる。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

ア. 開業支援事業による効果

○賑わい集積開業等支援事業【再掲】（高岡市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
実施主体	高岡市
事業概要	商店街や観光地など指定区域において、空き店舗で新規開業する方を対象に、店舗改装費や家賃等に対し支援 旧来の4つの開業支援制度を一本化し、効率的、効果的な制度運用を図る。 ・ 中心市街地賑わい創出開業等支援事業（中心市街地） ・ 観光地魅力アップ開業等支援事業（観光地周辺） ・ 空き店舗における開業等支援事業（周辺商店街） ・ 中心市街地における既存店舗リニューアル支援事業
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和2年度～令和4年度） 中心市街地活性化ソフト事業（令和5年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（開業支援事業による効果） 事業目標値：55件 最新値：49件（R4:20件、R5:13件、R6:16件） 達成状況：未達成 単年度当たり11件の目標を上回る数値となっている。
事業の今後について	引き続き制度の周知や関連団体との連携を行うことで開業支援の活用を図っていく。

イ. リノベーションまちづくり事業による波及効果

○リノベーションまちづくり事業【再掲】（高岡市、中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	平成29年度～【実施中】
実施主体	高岡市、中心市街地活性化協議会
事業概要	御旅屋人マーケットを始めとした、新しい使い方による「街のコンテンツ」を生み出すことにより、来街機会と賑わいの創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和2年度～令和4年度） 中心市街地活性化ソフト事業（令和5年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（リノベーションまちづくり事業による波及効果） 事業目標値：+5件 最新値：+1件（賑わい集積開業等支援事業と重複） 達成状況：未達成 御旅屋人マーケットの出店者による中心市街地エリアでの開業成果があった。
事業の今後について	商店街での定期的なマーケット開催により、中心商店街での回遊の促進、さらにはマーケットの出店者や客がアーケード内での実店舗とその顧客となるよう誘導する。

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、目標達成は可能と見込まれる。

起業希望者がT A S Uに相談し、事業計画の作成等の伴走支援を受けながら各種補助制度を活用し、中心市街地での開業に繋げる流れが根付いてきている。その中には、御旅屋人マーケットに出店した店舗が中心市街地エリアで開業したケースもあり、事業間の連携による成果が着実に始めている。

また、令和6年度からは、遊休不動産をリノベーションし、借り手とマッチングする事業者への支援制度を立ち上げ、更なるまちなかの空き物件の解消を促進させる取り組みを進めているところである。